

## 外国語科「コミュニケーション英語Ⅱ」授業実践紹介

授業者：小賀 良子、銭花 絵里

学 年：2年

単元名：My Favorite Person

### 本時のねらい

- ①自分の好きな人のことについて、写真や色ペンを用いて見る人がわかりやすい新聞を作ることができる。
- ②自分が好きな人の魅力や他者に伝えたいことについて、できるだけみんなが知っている単語や表現を使って説明することができる。

### 単元の流れ（8時間）

- ①個々に「自分の好きな人」について、伝えたいことや魅力などを日本語でリストアップし、簡潔な英語に訳す。（2時間）



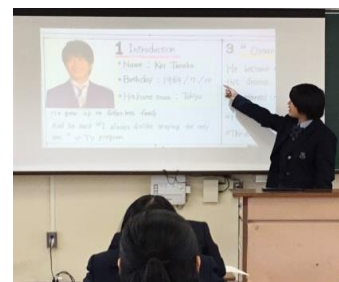
- ②コンピューター室で、リストアップした内容に関する画像を検索し、新聞を仕上げる。（1時間）



- ③スピーチの原稿を作る。グループで意見を聞いたりし原稿を仕上げる。できあがったら、発表練習。（3時間）



- ④ループリックを確認し、評価の観点を意識しながら、新聞をスクリーンに映して発表。（2時間）



### 単元のループリック

観点	Excellent (5点)	Good (3点)	Do your best (1点)
(A) Content (内容)	新聞やスピーチ台本を自分で考え、自分が選んだ人について、5つのことが説明され、英語にもほとんど誤りがない。	新聞やスピーチ台本を概ね自分で考えることができ、自分の選んだ人について3~4つのことが説明され、英語に少し誤りがある。	新聞やスピーチ台本ができず、自分が選んだ人について、1つしか説明することができず、英語の誤りが多く見られた。
(B) Performance	英語の原稿を見ないように、スピーチがはじめからおわりまでスムーズに、新聞の指さしにあわせてプレゼンをすることができた。	英語の原稿を時々見たり、時々スピーチが途切れることがあり、新聞の指さしに少し合わない所があった。	英語の原稿をプレゼン中ずっと見ており、スピーチは途切れることが多く、新聞の指さしにあわせてプレゼンをすることができなかった。
(C) Understanding (理解)	他の人のスピーチを聞いて、理解することができた。また、自分のスピーチで言いたいことがすべて言えた。(+1点) 英語で質問ができた。	他の人のスピーチを聞いて、概ね理解することができた。また、自分のスピーチで言いたいことが概ね言えた。	他の人のスピーチを聞いて、ほとんど理解することができなかった。また、自分のスピーチで言いたいことがほとんど言えなかった。

### 単元を通して身につけてほしいこと

自分の伝えたいことを簡単な英語を使って、相手に伝えようとする態度を身につけてほしいです。それには、今まで学習した単語・フレーズや、多くの人が知っている単語を使ってスピーチをすることが大切です。その際に写真や絵を使用し、簡潔な英語を書いておくことも有効です。

また、新聞作りやスピーチ原稿作りを通して、相手の立場に立って、自分の言いたいことが伝わる英語能力も身につけてほしいです。

## 実践の背景

- 本実践は Angela Aki の生い立ちから夢を叶えるまでのストーリーを学び、その後 10 時間の構成で準備と発表をしたものである。自分の好きな有名人を 1 人選び、新聞作成やその人物について英語のスピーチ原稿を考え、Show&Tell 形式で発表させた。授業中は落ち着いた雰囲気の中で学習している。しかし英語に苦手意識がある生徒は英語で発表することに対して消極的傾向にある。1 年次生るとき、グループで「台湾交流授業」で英語のプレゼン発表の成功体験もあり、2 年次生では、1 人で新聞づくりやスピーチ原稿づくりができるという自信を身につけさせ、簡単な英語でも伝わるというプラスワンのスキルを身につけてもらいたいと考えた。

## 授業改善のアプローチ

- 生徒個々が興味のある人物を設定し、Writing と Speaking の力を養う。グループ活動を取り入れながら、個々が伝えたい文を意見交換しながら英語のスピーチ原稿を作る。
- 教員は小さな文法ミスは手直しせずに、「伝わる」、「見やすい」を第一に新聞やスピーチ原稿を作成するよう促す。

## 単元のヤマ場となる授業場面

前ページの「授業の流れ」参照

- 英語は「伝える」ためのツールである。文法を多少間違えても、考えや情報を相手に伝えようとする態度は重要である。今回は生徒にとって身近な題材であり、簡単な英語でその人物について新聞を用いて説明することができた。また、新聞を iPad で撮影し、Apple TV を用いることによって、生徒が自由に動きながら発表をすることができた。
- スピーチ原稿ばかりに目がいきがちになるが、他の人に伝わるようにゆっくりと新聞を指さしながら、簡単な英語で人物紹介ができた。

## パフォーマンス課題

「My Favorite Person」というタイトルで、好きな有名人を 1 人選び、その人物についての新聞を書き、その人物を紹介するスピーチを英語で作ろう。

(条件 1) 新聞に必ず 1 枚以上の絵または写真をつける。

(条件 2) みんなが理解できる英語を使った発表原稿を作る。

(条件 3) 発表をする時は、恥ずかしがらず間違ってもいいので精一杯、新聞を指さしながら英語で発表する。

## 評価

- ①パフォーマンス課題に対する評価 (30%)
- ②週末課題+提出物+小テスト (20%)
- ③定期考査による評価 (50%)

観点	Excellent (5点)	Good (3点)	Do your best (1点)
(A) Newspaper	スピーチの内容がよく伝わるよう、新聞が工夫され作られている。	一通り新聞が作れている。	新聞が未完成である。
(B) 見やすさ 文字や写真の 大きさ	①絵や写真・・・トピックにあった写真や絵があり、見やすい。 ②文字・・・文字は大きくて、簡潔で見やすい。	① or ②	①も②も残念。
(C) 文章の内容	選んだテーマについて、5 つのことが説明されていた。	選んだテーマについて、3~4 のことが説明されていた。	選んだテーマについて説明されていなかった。
(D) 文法・語彙	語彙の選択や文法にほとんど間違いがなかった。	語彙の選択や文法に少し間違いがあった。	語彙の選択や文法にかなりな違いがあったが、言っていることは理解できた。